

『みんなであいさつ 明るく元気な高洲小』

藤枝市立高洲小学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修		
4月	○ステージ集会 ○ようこそ1年生集会（全学年）	研修 「なごころのまちで こころなげよう」 生徒指導 「みんなで育む くみんまで育てる 話せばわかる 判断は子供がする」 特別活動 「自分から 仲間とともに チャレンジ」	職員会議でピア・サ ポートとは何か確 認する		
5月	○運動会（全学年）		つくるステージ		
6月	○縦割り班遊び				
7月					
8月	○ステージ集会			たかめるステージ	実践の振り返り
9月	○縦割り班遊び				
10月	○校内音楽会（全学年）				
11月	○縦割り班遊び （感染症流行のため中止）				
12月	○園児との交流（1年）	実践の振り返り			
1月	○ステージ集会	つなげるステージ			
2月	○縦割り班遊び ○6年生ありがとうの会（全学年）				
3月	○卒業式（5・6年）		実践の振り返り 来年度に向けて		

1 本校のピア・サポート

本校では、長年 JRC の活動に力を入れており、JRC 委員会を中心に VS (ボランティア・サービス) 活動に取り組んでいる。学校をよりよくするために何をしたらいいのか自分で考え実行することを目的に、月に一度 VS 活動の時間を設定している。

2 本年度の取組

(1) 授業において

本年度、高洲小学校では研修主題を昨年度に引き続き「なっとくするまで とことんやる子」と設定した。重点は「?(ハテナ)から始める授業」とした。令和5年度から設定されている「聴く・話す」の共通目標があり、「話し手の伝えたいことをわかるために」「聴き手にわかってもらうために」とピア・サポートの観点から全校で目標を設定し、学年が上がっても目標が変わらないようにしている。

(2) 特徴的な活動

①縦割り班活動 (提言3、6)

本年度から、運動会の色別に縦割り班を作り、色対抗のあいさつ合戦をしたり昼休みに縦割り班遊びをしたり積極的に異学年交流を図っている。



②ふれあい委員会のふれあいミッション (提言6)



本年度、異学年の交流を増やしたいという目的で、ふれあい委員会が中心になり縦割り班でミッションに挑戦する企画を行った。「玉入れ」や「メディシングボール」、「言葉作り」など5つのゲームを1年生から6年生までが楽しめるようなルールを考え取り組んだ。縦割り班のメンバーが、協力してゲームに取り組む姿や相談する姿など関わりをもつことができた。

③JRC 委員会の VS 活動の呼びかけとかがやき見つけ (提言1、4)

JRC 委員会が中心となり、校内でよかった表れを価値づけするかがやき見つけを行っている。ポストに集まったカードは、昼の放送で読まれ、全体の場で価値づけされる。

また、本校は月に一度、朝の時間に VS 活動を設けている。学校をよりよくするためにどんなことができるか自分で考え、何をするか考える時間である。ステージ集会で、JRC 委員会が VS 活動について説明をした。「階段の掃除もいいよね。」「昇降口や廊下もきれいになると嬉しいよね。」などと教師が伝えると、低学年を中心に自分の教室だけでなく、違う場所にも目を向けられる子が増えた。



3 本年度の成果と来年度に向けて

高洲小学校では VS 活動という言葉が多く使われている反面、ピア・サポートという言葉がそれほど浸透していないように感じた。VS 活動の時間だけでなく、日常的にも VS の精神やピア・サポートが増えていくよう教師ができる手立ては何か考えている。

本年度は委員会を中心とした新しい取り組みが増えたので、来年度も子供主体の活動を続けていきたい。